

令和5年度 国語科「現代の国語」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	理数科 1年H組
教科書	現代の国語（大修館書店）	副教材等	「新訂総合国語便覧」（第一学習社） 「音と形で覚える漢字の演習改訂版」（明治書院）

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 	相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。 言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。 叙述を的確にとらえ、文章の要点をつかむ。	伝える・伝え合う 目的に沿った質問をする 「白紙」 森田真生 「水の東西」 山崎正和	<ul style="list-style-type: none"> ・ 〈言語活動〉「ミニインタビュー」で質問の練習をする。 ・ 全体の構成を把握する。 ・ 「わかる」ことの喜びを自分自身の経験と紐付けて理解する。 ・ 本文中に多く現われる二項対立の構造を整理する。 ・ 具体と抽象の関係を理解する。 ・ 〈言語活動〉「東西」での文化の違いについて調べ、発表する。 	行動の確認 行動の観察 記述の確認 ワークシート分析
	5					
	6					
				第1回考査		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈している。 ・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を養う。 	主張と根拠、推論のしかたに着目して文章の論理をとらえる。 資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に活かす。	「動的平衡としての生物多様性」 福岡伸一 「『安くておいしい国』の限界」 小熊英二 魅力的な紹介文を書く さまざまな広告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 ・ 演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。 ・ 鉤括弧の効果的な用い方を理解する。 ・ 統計資料を正確に読み取る。 ・ 「安くておいしい国」がどのような国といえるか、複数の観点でとらえる。 ・ 表現を豊かにする工夫にはどのようなものがあるか理解する。 ・ ポスター広告に含まれる要素を理解し、優れた表現や効果的な表現を考える。 ・ 〈言語活動〉自分が読んだ本の紹介文・広告を作る。 	行動の確認 記述の確認 行動の観察 ワークシート分析
	8					
	9					
				第2回考査		

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	・内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	複数の文章や資料を比較し、考えを深める。	「『美しさの発見』について」 高階秀爾	・全体の構成を把握する。 ・「美しさ」の創造についてどのような考え方があるのか理解する。 ・参考「脳は美をどう感じるか」を読み、「『美しさの発見』について」との共通点を考察する。	行動の確認 行動の観察
	11	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。	「言葉についての新しい認識」 池上嘉彦	・内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確に捉え、要旨をまとめる。 ・〈言語活動〉日本語にあり他言語には無い名詞を調べ、発表する。	行動の観察 ワークシート分析
	12			第3回考査		
	1	・実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集して、伝え合う内容を検討している。	文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。	「贅沢を取り戻す」 國分功一郎	・筆者の主張の妥当性や信頼性を吟味する。 ・筆者の主張をふまえて、「贅沢」についての考えを深める。	行動の確認 行動の観察
	2	・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。	目的に沿って主体的に情報を集めたり、それを発信したりする。	「白」 原研哉	・主体的に文章を読み、自分の知識や考えを広げる。 ・私たちの身の回りにはどのような「白」があるのか、理解する。	行動の観察
	3			第4回考査		

3 評価の観点

知識・技能	ア 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 オ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 カ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。
思考・判断・表現	【話す・聞く能力】ア 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 イ 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ウ 話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 エ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 オ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 【書く能力】ア 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりできる。 【読む能力】ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。
主体的に学習に取り組む態度	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

4 評価の方法

評価規準に従い、小テストや定期考査の結果、提出物の内容、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

中学時代よりも抽象的な内容の文章が増えて戸惑うかも知れませんが、読み慣れていくと瞬間に視野が広がっていく、世の中の構造や人間という存在も論理的に考えられるようになります。まずは語彙を増やし、文章の構造を読み解く力を身に付けていきましょう。常用漢字の習得は1学年のうちに完成させてください。